

内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal Dissection)

を受けられる患者様へ



食道内視鏡治療説明用パンフレット

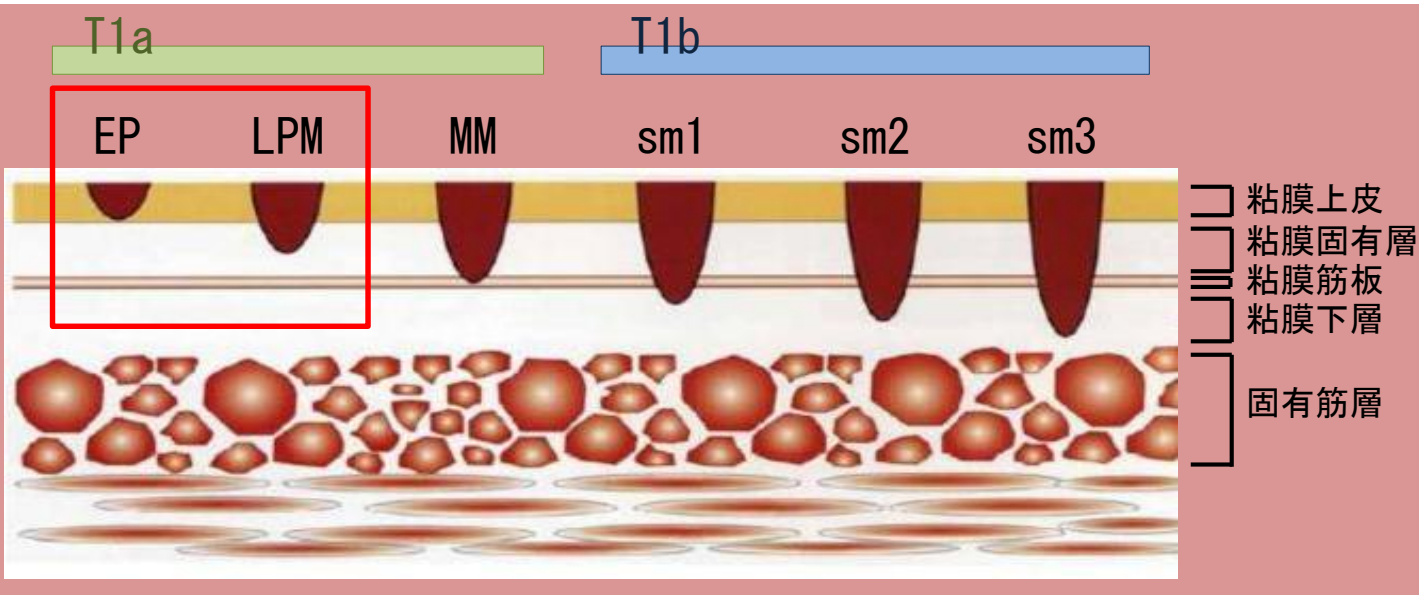
富山大学附属病院 第3内科

第3版

内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

1、 早期食道癌

■ 食道癌は、浸潤の深さにより表在癌と進行癌に分類されます。



- ・ 上の図は表在癌を示しています。表在癌は粘膜に癌がとどまっているものです。
- ・ 特に「早期食道癌」は食道癌が粘膜内にとどまっているもの (EP, LPM) をいいます。
- ・ リンパ節転移はCT検査などで調べます。
- ・ 早期食道癌でもすべてが内視鏡治療できるわけではなく、下図の赤枠部分で示す病変が適応になります。これらは癌の大きさでなく、浸潤の深さで決まります。

2、 食道の内視鏡的粘膜下層剥離術の適応

壁深達度	EP	LPM	MM	sm1	sm2～
内視鏡治療 適応	◎	◎	○	○	×

※内視鏡治療ができる病変の大きさには制限がありませんが、食道全周の3分の2を超える大きさになると、治療後に狭窄を来す可能性が高くなります。

※治療後狭窄が予想される場合、狭窄予防を目的としたステロイド剤の内服治療を併用する場合があります。

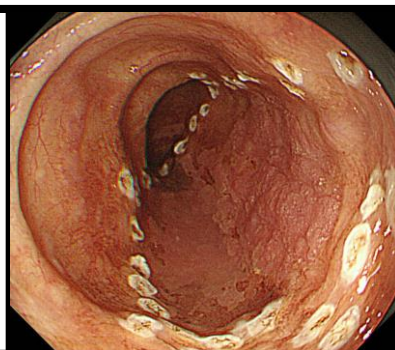
※内視鏡治療後に、壁深達度が予想よりも深い、または不完全切除になった場合、追加治療が必要となる場合があります。術後の結果と今後の治療方針について主治医から提案がありますので、相談してください。

3、内視鏡的粘膜下層剥離術の方法

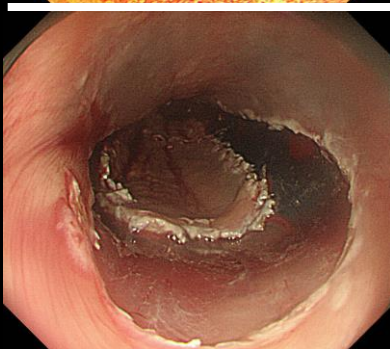


【色素内視鏡】
茶色い色素(ヨード)を
散布し病変を見易くし
ます。

中央の色が抜けて見
える部分が「癌」です。



【マーキング】
色素内視鏡で確認でき
た食道癌の全周に対し
電気メスでしるし(マー
キング)を付けます。



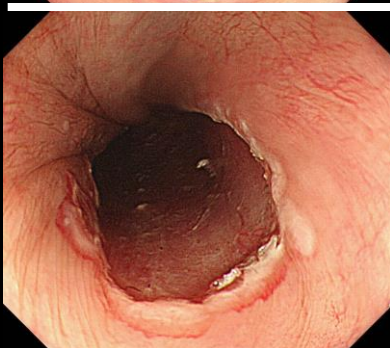
【粘膜切開】
電気メスでマークした
部分の外側で、粘膜
を1周切ります。

これにより癌の粘膜と、
正常の粘膜が切り離
されます。



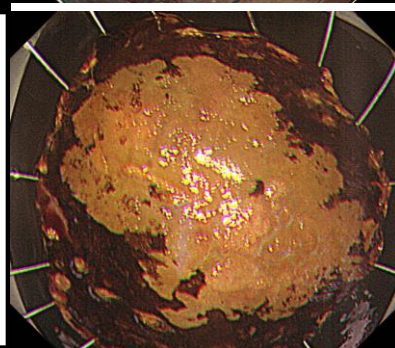
【粘膜剥離】
粘膜の下(粘膜下層)
を電気メスを使って
はがしていきます。

このときハサミ型ナイフ
で筋層に傷つけない様
に丁寧に剥離します。



【切除後状態】
粘膜下層剥離が完了
しました。

出血が予想される血
管があればこのときに
止血処置を行います。



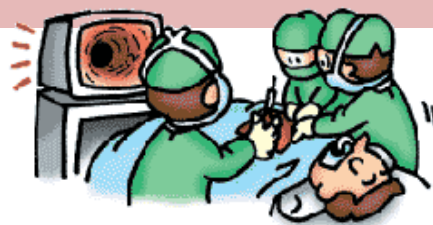
【切除病変】
切除した粘膜は、
「病理検査」に提出し
癌が取りきれているか
について調べます。

4、内視鏡治療時の麻酔方法について

食道の粘膜や固有筋層は非常に薄いため、内視鏡操作による消化管穿孔だけでなく、体の動きにより、思わぬ穿孔を起こすことがあります。そのため内視鏡治療時には十分な鎮静が必要であるため、当院では全身麻酔下での治療を行っています。

全身麻酔の安全性を確認するために、採血検査、レントゲン検査、心電図検査を行いその結果をもとに麻酔科の診察を受けていただいています。

小さな病変で比較的短時間に従来の方法（EMR法；粘膜切除術）で行うことが可能な場合、また全身麻酔をかけることが困難な場合は、従来の鎮静方法（ミダゾラム）で麻酔をかけて、内視鏡室での治療も行っています。



5、内視鏡的粘膜下層剥離術の偶発症

〔主な術中偶発症〕

①食道穿孔・縦隔炎

電気メス操作で食道に孔があく場合があります。特に術後に発熱する場合があります(縦隔炎といいます)、その場合、絶食・抗生物質の投与により治療します。そのため入院期間が延長する場合があります。

②臓器損傷

食道は内腔が狭く、呼吸や心臓の拍動により常に揺れている臓器であるため、内視鏡治療の難易度が高く、偶発症の起こりやすい部位です。また食道は、肺や気管支、心臓や大動脈といった重要な臓器のそばに接しているため、臓器損傷がこれらに及ぶ可能性があり、生命の危機に晒される可能性があります。

③消化管出血

手術中の出血については、その都度内視鏡的に止血を行ないます。

※孔の大きさが大きい、他の臓器損傷がある、縦隔炎が抗生物質で改善しないなど、内科的処置では改善が認めない場合は、手術になります。

6、術後の注意点

重要な術後の後遺症

切除した病変が食道の半周を超えた場合、傷が治る過程で食道が狭く(狭窄)なり食事が通りにくくなったり、食事が詰まる症状が起きます。

★ 退院後2週間は、辛い食べ物、また過激な運動は避けて下さい。アルコールは治療後だけでなく、将来の食道癌の危険因子です。飲まないでください。

★ 医師から「術後狭窄の恐れがある」と言われた場合、退院後1～2週間してから狭窄症状(食べ物や水分が通りにくい)が出る場合がありますので、食事は良く嚥んで、ゆっくりと様子を見ながら食べるようにしてください。

★ 医師より説明させていただいた内容について、十分にご理解いただけましたら、承諾書に御署名のうえ、入院日に持参し内科外来でお渡してください。

★ 治療当日は電気メスを使用します。義歯や貴金属など、身に着けているものは治療当日外していただきます。保管用の容器などご持参ください。

何かご不明な点がございましたら、遠慮なくご質問ください。
富山大学附属病院第3内科 TEL: 076-434-2281 (病院代表番号)

(説明医署名)